

## 第1回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会



上空から見た百間川分流部周辺の風景



上空から見た一の荒手周辺の風景

### 「百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会」開催される！

平成15年12月5日（金）、おかやま三光荘において「第1回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会」が開催されました。

この協議会は、百間川分流部の改修にあたって、歴史的治水機能の継承や自然環境の保全、既存計画や地域社会の要望など、現状を踏まえた周辺の利活用、整備・管理の検討を行うため設置したものです。

本号では、第1回協議会の概要についてご紹介します。

## 第1回百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会開催

第1回協議会では、規約、運営、協議会の目的及び検討内容などについて討議され、会長には名合宏之氏（岡山大学環境理工学部教授）、会長代行には内田和子氏（岡山大学文学部教授）が選出されました。

討議の結果、規約、運営要領及び傍聴要領が決定されました。なお、設立趣旨については協議会での意見を踏まえ、次回の協議会で討議されることとなりました。

### ●協議の骨子

- 協議会設立趣旨、規約、運営について
- 本協議会の目的と検討内容について

### ●資料

1. 協議会設立趣旨、規約、運営について
2. 旭川・百間川改修の必要性について
3. 本協議会の目的と検討内容について

### ●参考資料

1. 本協議会に関するQ & A

### ●参考資料（市民団体）

1. 百間川に対する思い（高島・旭竜エコミュージアムを語る会）
2. 活動報告（旭川流域ネットワーク）
3. 津田永忠記念公園構想MAP（津田永忠記念公園策定委員会）



第1回協議会の様子

## 分流部整備の基本方針

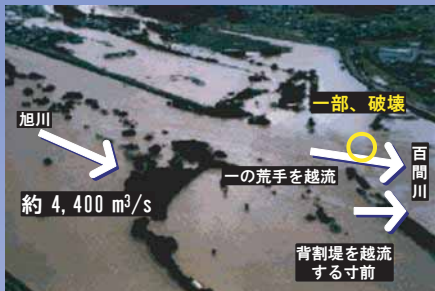
旭川及び百間川により岡山市全域の  
洪水被害の軽減を図る。  
（洪水を安全・適切かつ確実に分流させる分流部の機能強化）



# 分流部の現状と課題

## ●分流部の治水能力と課題

- 分流部の荒手は、1686年の貞享じょうきょうの築造以来、約300年間洪水から岡山市域を守る役割を果たしてきましたが、明治25年洪水にて三の荒手が破壊するなど、幾度も補強を繰り返しています。
- 一の荒手が含まれる背割堤は、大規模な洪水から城下を守るために、決壊しやすく築造されていたと考えられます。
- 近年の洪水（平成10年）でも、一の荒手や二の荒手の一部が破壊しています。



平成10年洪水の状況(一の荒手)

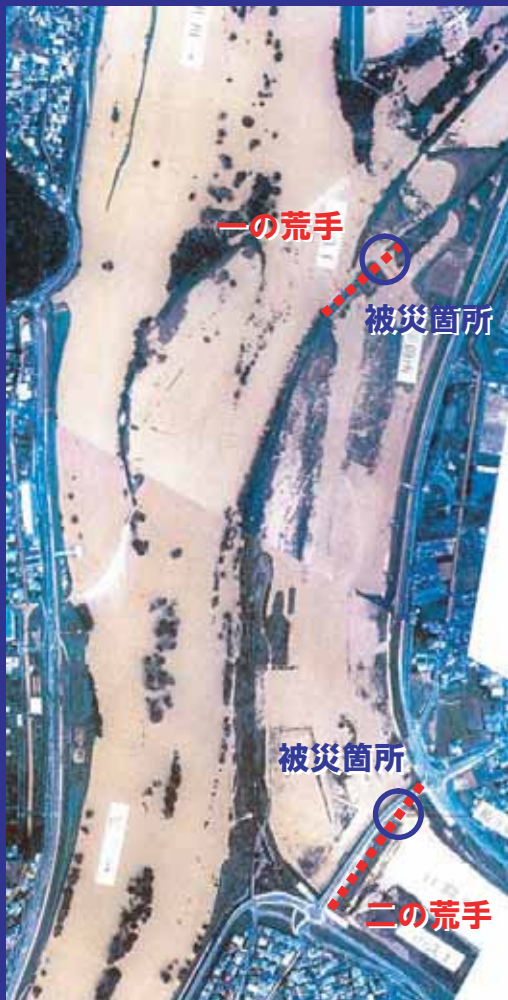


貞享の築造時の分流部周辺のイメージ



「旭川東部絵図」を近年の地形図上に推定したもの。

## 平成10年洪水における分流部の様子



①洪水時の状況



②被害の状況



③復旧の状況



④洪水時の状況



平常時の様子(写真撮影位置)



⑤被害の状況

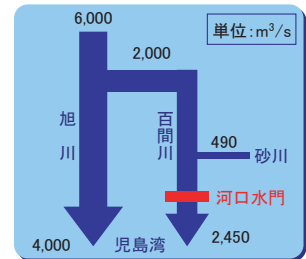
## ●これまでの百間川整備の概要

百間川は、岡山城と上道郡を洪水から守るとともに、下流域の新田開発のために築造されて以来、旭川放水路として岡山平野を洪水の氾濫から守る大切な役割を果たしています。

国土交通省では、このような百間川の役割の継承と、百間川沿川における安全確保の両立をめざして、昭和49年に築堤等の本格的な百間川改修に着手し、平成9年には工事実施基本計画（平成4年改定）の百間川分流量（2,000m<sup>3</sup>/s）に対応した堤防が砂川を残し概ね完成しました。

### 旭川工事実施基本計画（平成4年）の概要

既往最大である昭和9年洪水規模への対応を目標として洪水流量配分を定めています。



以下に示すような各種整備を進め、平成9年には、堤防の整備が砂川を残し概ね完成しています。

### ●河道整備

洪水が安全に流れる河道に！



### ●堤防整備

堤防を高く、丈夫に！



### ●橋梁改良

洪水時にも安心して渡れる橋に！



### ●排水路整備

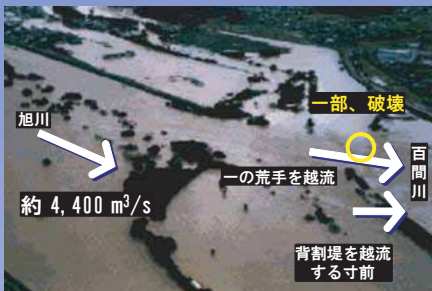
機能的な排水路に！



# 分流部の現状と課題

## ●分流部の治水能力と課題

- 分流部の荒手は、1686年の貞享じょうきょうの築造以来、約300年間洪水から岡山市域を守る役割を果たしてきましたが、明治25年洪水にて三の荒手が破壊するなど、幾度も補強を繰り返しています。
- 一の荒手が含まれる背割堤は、大規模な洪水から城下を守るために、決壊しやすく築造されていたと考えられます。
- 近年の洪水（平成10年）でも、一の荒手や二の荒手の一部が破壊しています。



平成10年洪水の状況（一の荒手）



貞享の築造時の分流部周辺のイメージ



「旭川東部絵図」を近年の地形図上に推定したもの。

## 平成10年洪水における分流部の様子



①洪水時の状況



②被害の状況



③復旧の状況



④洪水時の状況



平常時の様子(写真撮影位置)



⑤被害の状況

# 今後の検討内容及び本協議会委員名簿

## 検討対象区域

### 主な検討事項

- 一の荒手の整備
- 二の荒手の整備
- 河道(低水路)の整備
- 周辺堤防の整備
- 防災拠点の整備



## 百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会 委員名簿

(氏名は敬称略。順不同)

区分	氏名	所属・役職等	専門等
学識経験者	今本 博健	京大名誉教授	河川調査
	○内田 和子	岡山大学文学部教授	応用地理学
	沖 陽子	岡山大学環境理工学部教授	雑草学
	佐藤 國康	川崎医療福祉大学環境論教授	生物
	柴田 一	就実大学学長	歴史
	千葉 喬三	岡山大学副学長	緑地生態学
	中川 博次	立命館大学理工学部教授	河川工学
	◎名合 宏之	岡山大学環境理工学部教授	水理学
	波田 善夫	岡山理科大学総合情報学部教授	植物生態学
漁業関係者	牧村 正司郎	旭川岡山漁業協同組合組合長	漁業
地域住民	藤原 浩	高島学区連合町内会会長	関係学区
	瀧本 孝	旭竜学区連合町内会会長	関係学区
	長江 勸次郎	宇野学区連合町内会会長	関係学区
	枝松 誠一	今在家町内会会長	関係町内会
	瀧本 孝	中島町内会会長	関係町内会
	有安 和夫	竹田上町内会会長	関係町内会
	近藤 修	竹田新町町内会会長	関係町内会

区分	氏名	所属・役職等	専門等	
市民団体	小嶋 光信	津田永忠顕彰会		
	鑛山 宗利	高島・旭竜エコミュージアムを語る会		
	花口 光	岡山の自然を守る会	生物全般	
	池田 満之	旭川流域ネットワーク		
	青 雅一	岡山淡水魚研究会	魚類	
	久保 皓一郎	日本野鳥の会 岡山県支部	鳥類	
	湯浅 金平	高島・旭竜ホテルの里づくり協議会		
	行政関係者	中川 孝夫	岡山県土木部河川課長	
	正岡 睦夫	岡山県古代吉備文化財センター所長	文化財	
坪井 邦彰	岡山市都市整備局土木部長			
青木 元春	岡山市都市整備局公園緑地部長			
西山 猛	岡山県教育庁文化財課長	文化財		
河川管理者	渡部 秀之	国土交通省 岡山河川事務所所長	河川管理者	

※ ◎:会長(第1回協議会にて委員の互選により選出)  
○:会長代行(会長が指定)

協議会での協議内容、協議会資料の詳細については、岡山河川事務所ホームページ(広報、閲覧コーナー)をごらんください。

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 調査設計課

岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL 086-223-5101

岡山河川事務所ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp>